

木更津市市民活動支援センター運営協議会書面会議記録

日 時 令和2年10月 7日（水）（書面発送）

報告事項

1. 指定管理第一期目の事業報告及び令和2年度事業計画
資料1のとおり
2. 令和元年度運営協議会検討事項の報告
資料2のとおり
3. 税制改正による条例指定制度について
4. その他（自由意見）

報告事項に関する意見・質問と回答

1. 指定管理第一期目の事業報告及び令和2年度事業計画について

（1）平成30年度重点事項の「育成・連携」については、登録団体または市民活動従事者に対してどのような「育成・連携」を行ったか。

（回答）

登録団体の情報発信能力の育成を図るため、メディアとの交流会を開催いたしました。また、そのなかでメディアとして取り上げやすい情報発信の方法や周知の仕方等についてご教示いただくとともに、今後のメディアと登録団体の連携について情報交換をいたしました。

（2）第二期については、みらいラボが市民活動のハブとしての機能を果たしてもらいたいと考えているがいかがか。

（回答）

第二期目は「広げる」を重点項目に、市民活動を市民に広げ、市全域での市民活動が活発化する取り組みを行います。

令和2年度からは、市民活動サポートセンターを設置し、ボランティアを行いたい人材とボランティアを募集している登録団体とのマッチングを行っております。

また、市民活動への興味をもっていただくために、みらいラボの運営にボランティアスタッフとして携わっていただく、みらいラボサポーターシステムも併せて実施しております。

今後については、社会福祉協議会や公民館等と情報共有を行いながら、市民活動を市全域に広げていき、みらいラボが各機関とのハブとなるよう努力してまいります。

(3) 市民活動サポートセンター設置については、中身を充実させていくために も、社会福祉協議会や公民館等の他機関との連携が不可欠であると思われるがいか

が。

(回答)

ご意見のとおり、社会福祉協議会や公民館等の他機関との連携は不可欠であると考えておりますので、第二期目では積極的な情報共有を行っていきたいと考えております。

(4) 周知方法に課題がある。Facebook や LINE 等での情報発信を行っていることは知っているが、SNS等だけではなく、回覧板の活用や公民館と連携していくことでより広く周知できると思われる。

(回答)

広く市民に周知していくため、SNS等での発信だけではなく、紙媒体でのチラシ配布や公民館への周知等、幅広い世代に情報が行き届くよう、精査してまいります。

(5) 困っている人がみらいラボに来館された場合、登録団体へと繋ぐ仕組みがあるとよい。また、高齢者に対しても周知は必要である。

(回答)

関係機関（行政、社会福祉協議会、市民活動団体等）へつなぐことができるよう、積極的な情報共有を行ってまいります。また、高齢者への周知についても紙媒体での周知等を検討してまいります。

(6) 新型コロナウイルス感染症の拡大によってどの程度来館者が減少しているのか。

(回答)

平成31年4月1日～令和2年2月末	27,821人
令和2年4月1日～令和3年2月末	8,771人
	19,050人減少

(7) みらいマルシェについては、館内で販売するだけではなく、観光協会と連携して観光案内所で販売する等、より活動資金を獲得できる方法も検討したらどうか。

(回答)

みらいラボに設置することで、団体活動の周知と併せて活動資金増につながる仕組みとして実施しておりますが、今後は必要に応じて、みらいラボ以外での販売についても検討してまいります。

(8) ボランティアを派遣する場合の保険等はどのようなになっているか。

(回答)

ボランティア活動をする場合には、原則個人で加入していただいています。みらいラボ主催のイベントでは、指定管理者（三幸株式会社南総支店）でイベント保険に加入しております。

2. 令和元年度運営協議会検討事項の報告

(1) 周知方法について、SNSだけではなく、地域のイベントや回覧板等でも周知したほうが、幅広い世代にみらいラボを知ってもらえると思われる。

(回答)

広く市民に周知していくため、SNS等での発信だけではなく、紙媒体でのチラシ配布や公民館への周知等、幅広い世代に情報が行き届くよう、精査してまいります。

3. 税制改正による条例指定制度について

調査及び研究をすすめ、今後の運営協議会にて実施の可否を検討していくものとする。

4. その他

(1) 令和元年の台風15号等の災害時のみらいラボの対応状況や登録団体の活動、及びそこからみえた課題について、今後、どのように対応していくかを知りたい。
また、防災における三者連携を中間支援組織としてどのようにかかわっていくのかを検討していただきたい。

(回答)

令和元年の台風15号については、多くの市民活動団体にご協力いただき、災害ボランティアセンターと連携しながら、復旧活動を行いました。

みらいラボでは初めての状況であったため、登録団体個々に連絡を取ることもおおく、情報の収集や発信を迅速に行うことが困難であったのが現状となっておりました。

今後については、平時からの連携強化を図るため、関係機関との情報共有を図ってまいります。

また、市民活動団体が日ごろ行っている市民活動を災害時にも応用し、復旧活動に転向しながら行えるよう、市民活動団体の情報収集に努めるとともに、防災意識の向上に努めてまいります。